

「第6回小児がん拠点病院の 指定に関する検討会」 における説明資料

小児がん拠点病院整備の進捗状況に ついて

東海・北陸ブロック
名古屋大学医学部附属病院

診療実績

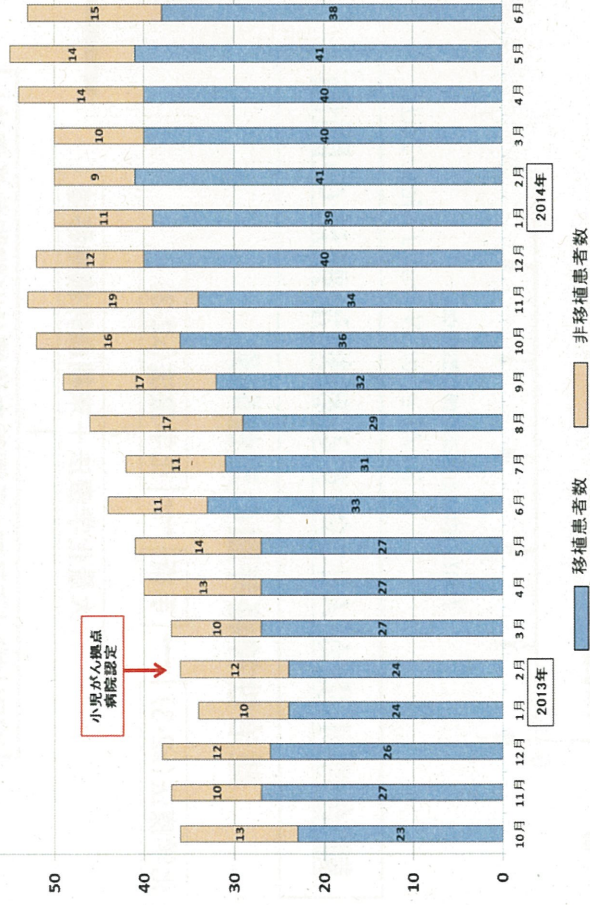
年間入院患者数の状況	診療実績													地域連携	緩和ケア	相談支援センター																					
小児がん入院患者数	造血器腫瘍													小児がん患者の紹介を受けた医療機関数	小児がん患者の他施設への紹介患者	緩和ケアチームが新規診療を実施した小児がん患者数	相談支援センター相談件数																				
	固形腫瘍													他施設から紹介された小児がん患者数																							
	その他																																				
	脳・脊髄腫瘍																																				
	胚細胞腫瘍																																				
	軟部腫瘍																																				
	骨腫瘍																																				
	肝腫瘍																																				
	腎腫瘍																																				
	網膜芽腫																																				
	神経芽腫瘍群																																				
	ダウンス症TAM登録																																				
	その他の造血器腫瘍																																				
	その他の組織球症																																				
	組織球症 LCH																																				
	組織球症 HLH																																				
	その他のリンパ増殖性疾患																																				
ホジキンリンパ腫																																					
非ホジキンリンパ腫																																					
MDS / MPDのうちCLLを除く																																					
MDS / MPDのうちCLL																																					
まれな白血病																																					
ALL																																					
AML																																					
H23年													376	10	4	0	1	4	4	1	2	6	4	2	0	0	1	1	5	16	24	3	62	22	27	4	81
H24年													421	12	3	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12※	26	4	65	44	34	4	90	
H25年													373	14	3	0	2	4	2	0	0	0	0	1	1	16	25	8	73	45	32	5	107				

※ 現況報告書は3で提出したが、再調査後12に変更

指定前後の変化 1

資料2-1

名大病院小児科血液・がん入院患者数の増加



小児患者家族滞在施設『ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや』完成(H26年1月)



小児がん治療センターの設立 (H25年10月)



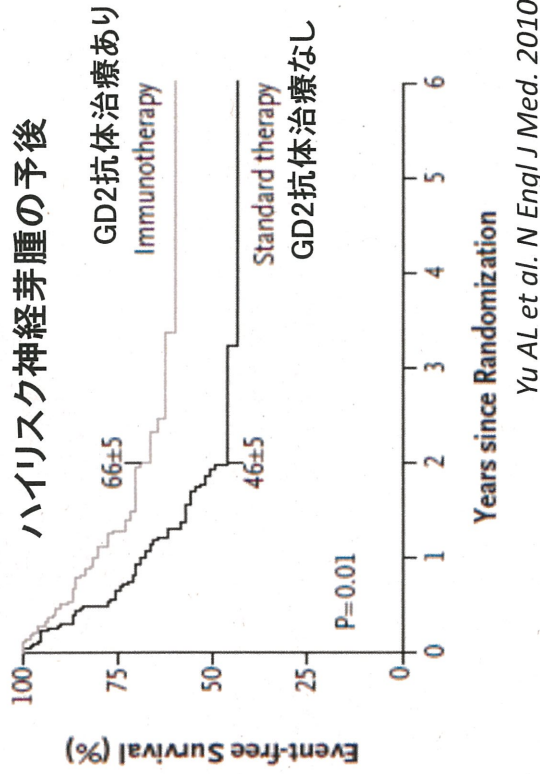
- AYA世代用プレイルーム(ティーンズルーム)の新設
- 入院患者のきょうだいの待機場所の新設
- 院内学級(小学部・中学部)の移転・拡充
- 小児科病棟に3床の無菌室をH26年度中に増床

- 小児緩和ケア講演会の開催(外部講師招聘、H26年2月)
- 緩和チームに精神腫瘍医(サイコロジスト)の配置
- 小児血液・がん診療研修の受け入れ
(3名:名古屋大学、日本大学、東北大学より)

指定前後の変化2

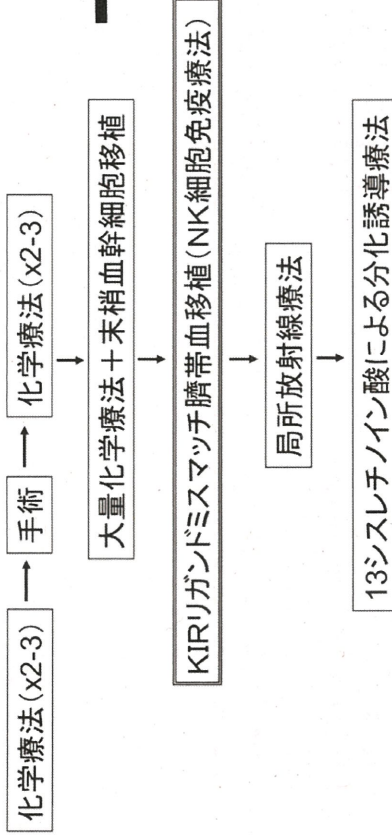
資料2-2

小児がん臨床治験の推進
＝ドラッグラグ解消に向けて

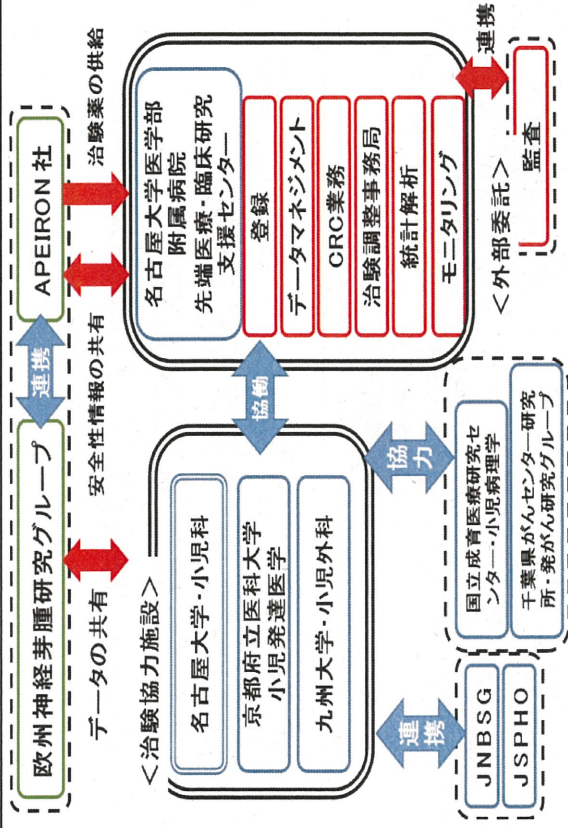


難治性小児がんに対する新規治療法の開発

難治性神経芽腫の治療開発



抗GD2抗体医師主導治験の開始 (H26.6.11)
(日本医師会治験推進研究費取得)



国際学会の臨床部門で優秀賞受賞 (H26.5.14)



ANR 2014
ドイツ
ケルン

事業実績報告

●実績報告に記載の項目

病院名：名古屋大学医学部附属病院

平成25年度小児がん拠点病院機能強化事業費 13. 8百万円

- ・小児がん医療従事者研修事業
 - ・……各種研修会(ブロック拠点病院研修会等)
- ・院内がん登録促進事業
- ・がん相談支援事業
- ・プレイルーム運営事業
 - ・……保育士・CLSの給与(3名分)
- ・入院患者家族支援事業
 - 0. 3百万円
 - 0百万円
 - 0百万円
 - 13. 5百万円
 - 0百万円

○-----○

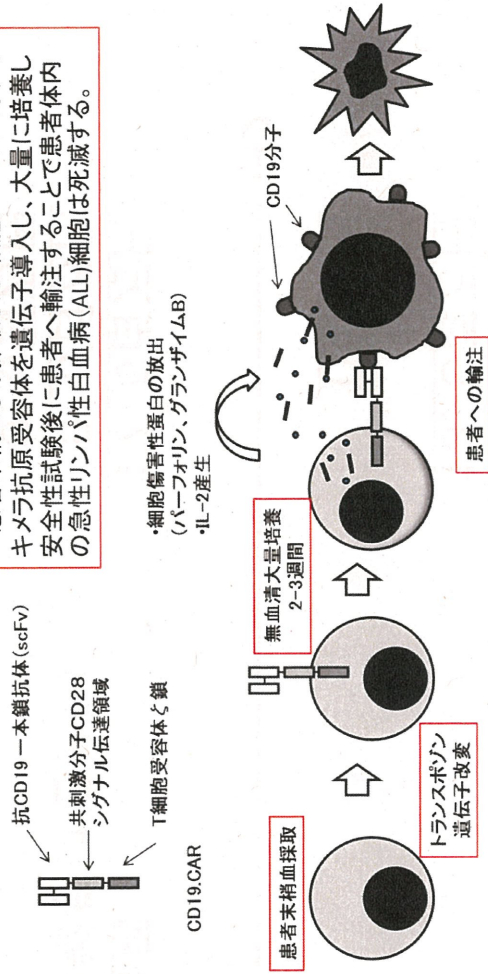
- 拠点病院予算以外の経費について
 - ・院内学級移転・ティーンズルーム新設費用 17. 5百万円
 - ・プレイルーム運営事業(保育士・CLSの給与(1名分)) 5. 0百万円
 - ・入院患者家族支援事業(舗装工事) 0. 3百万円
 - ・がん相談支援事業(看護師1名分の給与) 3. 3百万円
- 今後の予定
 - ・無菌室3床増床 120. 0百万円

再発難治急性リンパ性白血病に対する キメラ抗原受容体遺伝子導入T細胞(CAR-T)療法



CAR-T療法の概要

* 患者末梢血より採取したT細胞にCD19に対するキメラ抗原受容体を遺伝子導入し、大量に培養し安全性試験後に患者へ輸注することで患者体内の急性リンパ性白血病(ALL)細胞は死滅する。

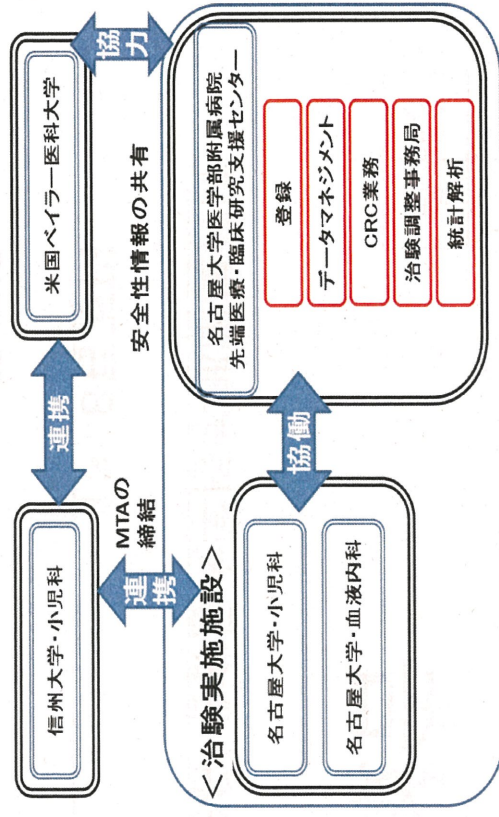
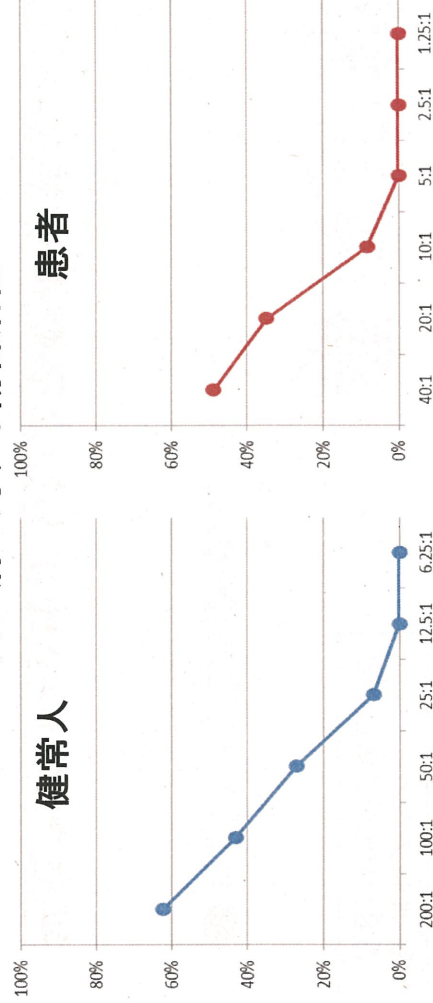


米国フィラデルフィア小児病院、2012年12月

非ウイルスベクターを用いたCAR-T療法 (名古屋大学・信州大学共同研究)

厚労省革新的がん医療事業実用化研究費採択 (H26年6月)

白血病に対する傷害活性



A group photograph of 18 people, including men and women of various ages, standing in a line on a wooden deck in front of a large glass window. The group is dressed in professional attire. The window reflects the outdoor environment, showing trees and a building.

→ サムソンがんセンター

細胞調整センター

	上海 小児 病院	北京 小児 病院	天津 血液 センター	サムソン がん センター	アサン がん センター	台湾 大学 病院	名古屋 大学 病院
<u>総ベッド数</u>	111	110	83	50	43	55	50
<u>年間新規患者数</u>							
急性リンパ性白血病	220	200	175	30	30	25	10
急性骨髄性白血病	70	80	55	12	16	10	5
神経芽腫	50	100	0	30	10	12	12
造血細胞移植数	115	250	0	100	55	23	30
<u>臨床医師数</u>	30	46	15	20	11	50	13
<u>研究者 (PhD) 数</u>	4	9	5	2	2	10	4
<u>研究施設</u>	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
<u>細胞調整センター</u>	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

先天性骨髓不全症診断・登録
神経芽腫治療研究
再生不良性貧血治療研究
悪性リンパ腫解析研究

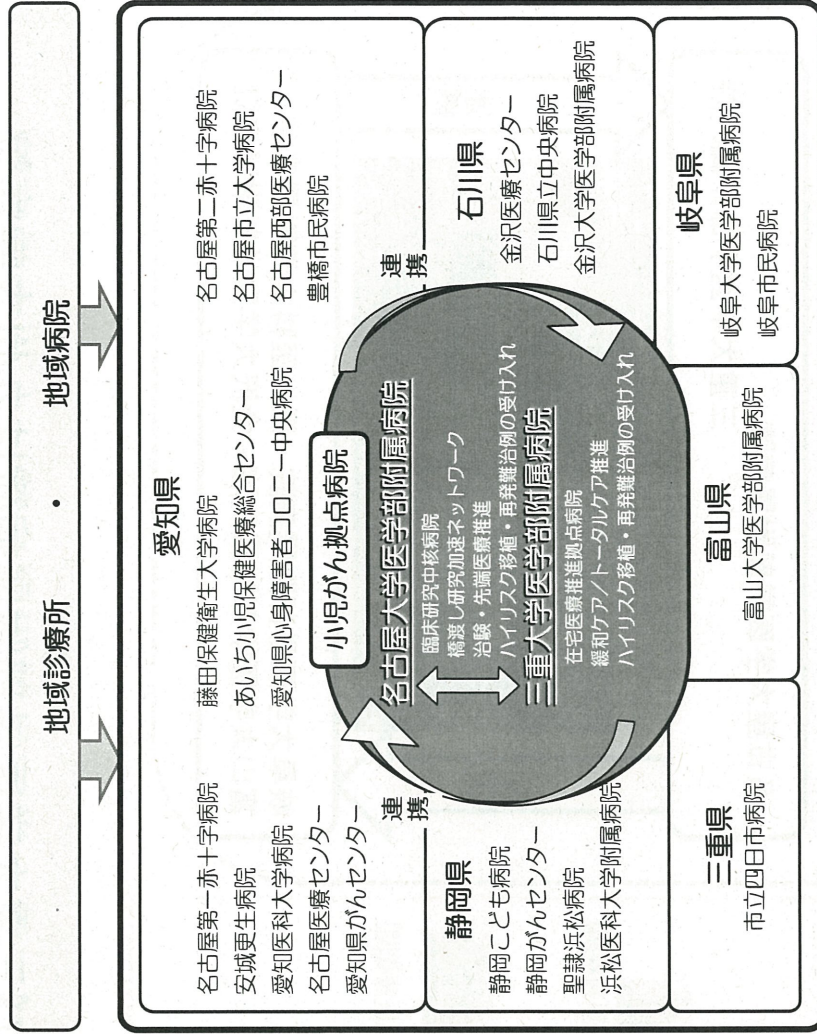
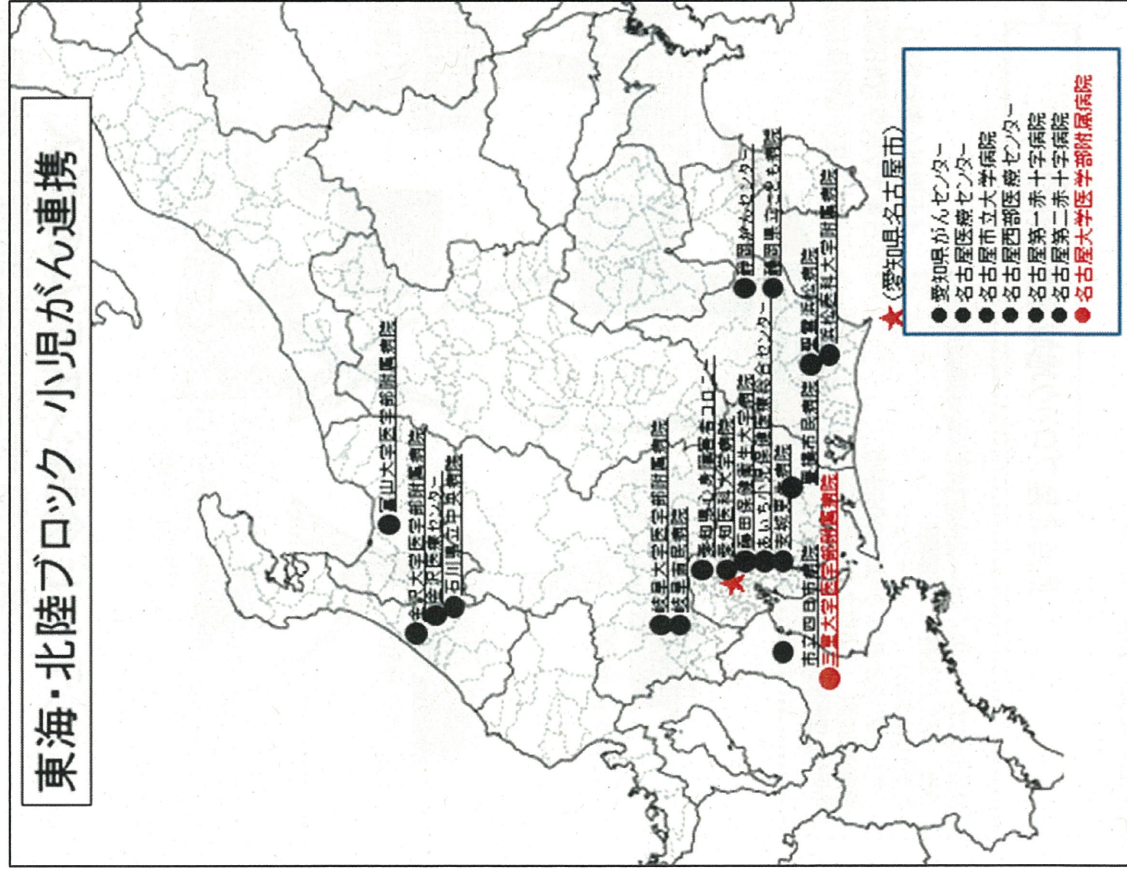
小児がん地域ブロック整備の進捗状況について

東海・北陸ブロック

地域ブロックの概要

東海・北陸ブロック
名古屋大学医学部附属病院

資料1



拠点病院（名古屋大学病院・三重大学病院）

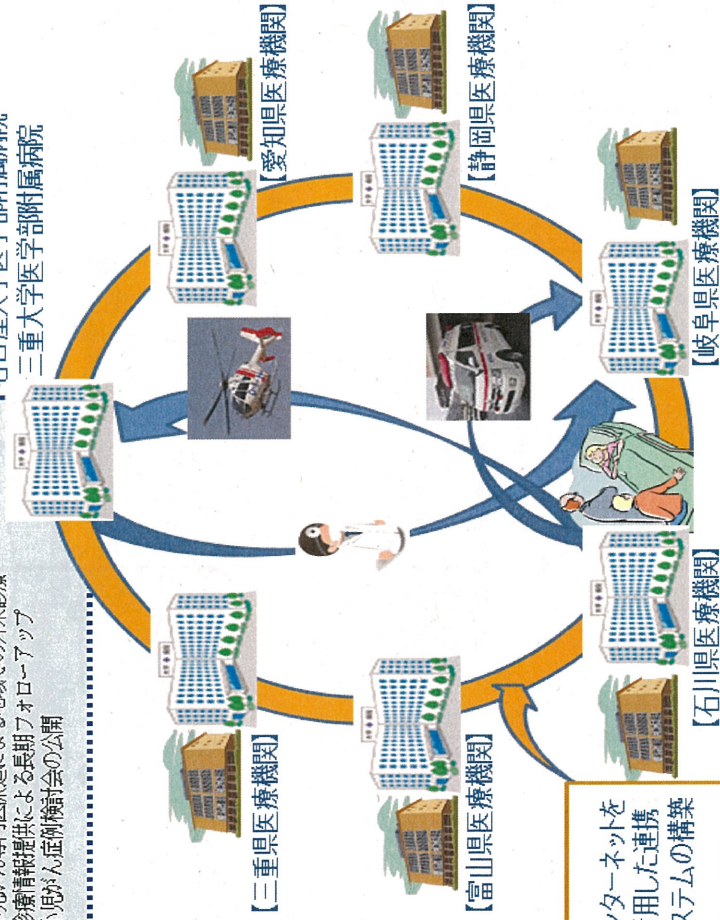
- ・連携病院からの紹介患者数・・・33人
- ・連携病院への逆紹介患者数・・・24人

●地域連携

東海北陸ブロック地域連携ネットワーク

- ・東海北陸ブロック地域小児がん医療連携体制協議会参画医療機関
の他 小児がん治療を行う医療機関
- ・診断及び治療等のコンサルテーション
- ・小児がん専門医派遣による地域での外来診療
- ・診療情報提供による長期フォローアップ
- ・小児がん症例検討会の公開

【小児がん拠点病院】
名古屋大学医学部附属病院
三重大学医学部附属病院



国立大学病院連携システム

国立大学病院連携システムは、九州大学病院が基点となっており、全国国立大学全で導入するシステムである。

名古屋大学医学部附属病院

三重大学医学部附属病院



連携

連携

岐阜大学医学部附属病院・浜松医科大学附属病院
富山大学医学部附属病院・金沢大学医学部附属病院

①テレビ会議システムの導入

→名古屋大学医学部附属病院及び三重大学医学部附属病院は九州大学病院が基点となった国立大学病院連携会議システムがあるため、現状のテレビ会議システムを拡張させたシステムを検討している。

②研修会の北陸ブロックでの開催

→東海・北陸ブロック小児がん拠点病院・診療病院で行われている各種研修会（年8回程度）中部小児がんトータルケア研究会、東海小児がん研究会、東海小児造血細胞移植研究会及び東海小児血液懇話会など小児専門医等による研究会（毎回東海・北陸ブロック小児科医50名以上参加）の開催を今年度1回以上北陸ブロックで開催する。

③各種研修会の開催について

→25年7月名古屋大学・三重大学において外部講師を招聘して、院内がん登録の研修会を開催した。今年度においても、まず26年7月に各職種（がん登録・がん相談・CLS等）において、まず拠点病院間で検討し、各病院の実務者に意見聴取した上で研修会を開催予定である。

④小児がん治療薬治験、先端医療の推進に「中部先端医療開発円環コンソーシアム」を利用

→先端医療の開発にあたっては、東海・北陸地方の10大学及び厚生労働省の2センターから構成される中部先端医療開発円環コンソーシアムが設立されているため、GD2抗体医師主導治験、CAR-T細胞療法等を進め、新規小児がん治療法の開発を行う。

小児がん拠点病院整備 の進捗状況について

関東甲信越ブロック

国立成育医療研究センター

第6回小児がん拠点病院の指定に関する検討会

2014.7.14

診療実績

	平成23年	平成24年	平成25年
造血器腫瘍	28件	38件	24件
ALL	4件	14件	9件
AML	4件	5件	4件
CML	0件	0件	0件
まれな白血病	0件	0件	3件
MDS/MPO	0件	2件	1件
非ホジキンリンパ腫	6件	6件	0件
ホジキンリンパ腫	0件	0件	0件
その他のリンパ増殖性疾患	0件	0件	0件
組織球症 HLH	7件	1件	0件
組織球症 LCH	3件	7件	5件
その他の組織球症	2件	2件	0件
その他の造血器腫瘍	0件	0件	2件
ダウン症TAM登録	2件	1件	0件
固形腫瘍	55件	62件	53件
神経芽腫瘍群	2件	7件	7件
網膜芽腫	17件	10件	7件
腎腫瘍	0件	3件	1件
肝腫瘍	3件	5件	7件
骨腫瘍	3件	0件	1件
軟部腫瘍	3件	1件	3件
胚細胞腫瘍	2件	6件	2件
脳・脊髄腫瘍	24件	30件	23件
その他	1件	4件	2件

	平成23年	平成24年	平成25年
小児がん入院患者延べ数	223人	369人	618人
小児がん入院在院延べ日数	8,471日	10,614日	12,921日
全入院患者延べ数	11,778人	12,902人	13,546人
全入院患者入院在院延べ日数	134,871日	143,583日	146,797日
地域連携			
他施設から紹介された小児がん患者数	91人	83人	69人
小児がん患者の紹介を受けた医療機関数	58件	62件	56件
小児がん患者の他施設への紹介患者数	97人	7人	20人
小児がん患者を紹介した医療機関数	70件	7件	15件
緩和ケア			
緩和ケアチーム新規診療小児がん患者数	12件	16件	19件
相談支援センター相談件数	238件	647件	1,112件
セカンドオピニオン小児がん患者数	25件	29件	43件

指定前後の変化

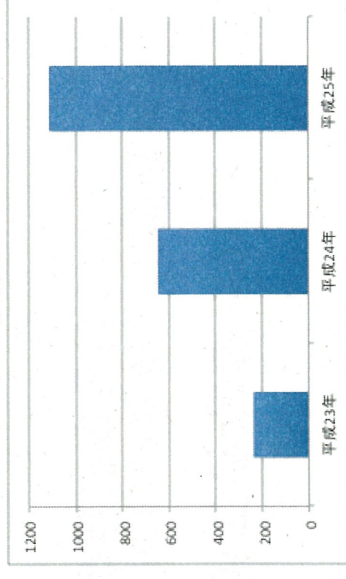
進捗があった点

資料2

- ・平成25年9月に、小児がんセンターを組織し、小児がんセンター長、脳神経腫瘍科医長、血液腫瘍科医長、移植・細胞治療科医長、血液科医長を選定した。
- ・造血細胞移植体制の見直しを行い、輸血療法室の体制整備を行った。
- ・小児がん相談支援センターの相談員2名が院内の新規患者にほぼ全件介入するようになり、相談件数が増加した。
- ・相談支援センター内に情報コーナーを設置し、小児がん情報専用コーナーを設置した。
- ・子どもと家族のための支援チームを発足させ、心理士、MSW、看護師、医師など多職種による総合的な支援を検討できる体制を整えた。
- ・教育支援としてベッドサイド教育に活用するためのタブレット端末を院内学級の教員に貸与した。
- ・これまで院内学級の教員と個々のケースでは連携していたが、教育支援の幅を広げるために月1回のミーティングを行うようになった。
- ・患者会との交流・支援として、活動場所を提供し、患者会の活動にも積極的に院内スタッフが協力した。



小児がん相談件数の増加



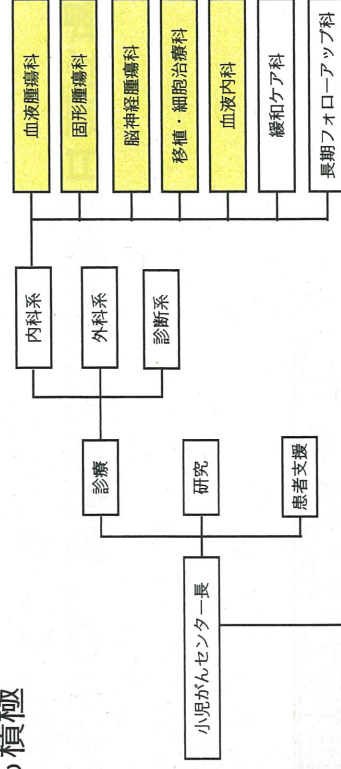
主催：「国立成育医療研究センター小児がん患者家族の会・あすなろクラブ」

小児がん家族のための勉強会

◆◆プログラム◆◆

- 10:00 講演 「最近の小児がん治療と今後」
国立成育医療研究センター小児がんセンター長 松本公一 先生
- 10:45 講演 「国立成育医療研究センターにおける
小児がん患者家族へのリーディング」
国立成育医療研究センター・患者支援相談室 鈴木 彰 先生
- 11:15~12:30 交流会

小児がんセンターの構成



関東甲信越地域小児がん医療連携協議会事務局

・新入院患者数の増加はなかった

→ 新入院件数の明らかな増加はなかったものの、診療実数、診療実日数は増加している。セカンドオピニオンも増加している。

・対外的な広報活動が十分でなかった。

→ ホームページ全面改訂を計画（平成26年10月予定）。

・人材育成が十分でなかった。

→ 診療に手一杯であり、人材育成のマンパワーが不足。
医長など指導者の布陣を固めても、研修を受け入れる予算が不足。

・相談支援センターにおいては院外に対する広報ができなかった。

→ 2名の相談員でこれ以上の相談を受けることは厳しいため、相談員の増員は必要。さらに、中央機関としての相談員研修を行うには、マンパワーが不足。

・情報コーナーを設置しているが、場所が良くない

→ 利用しやすい新しいスペースを確保する必要あり。

事業実績報告

病院名：独立行政法人国立成育医療研究センター

平成25年度小児がん拠点病院機能強化事業費

140万円

・小児がん医療従事者研修事業
需用費・備品購入費・会議費

0.70万円

・院内がん登録促進事業
給与・共済費・備品購入費

1.40万円

・がん相談支援事業
給与・共済費・図書購入費

8.40万円

・プレイルーム運営事業
給与・共済費・備品購入費

3.40万円

・入院患者家族支援事業
図書購入費

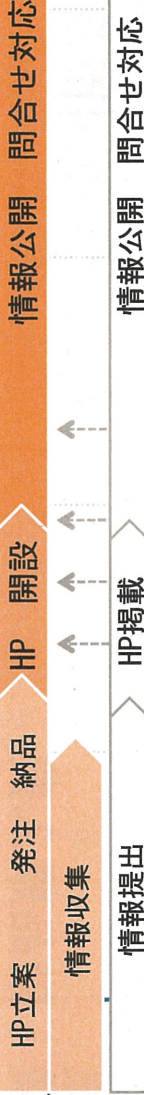
0.020万円

今後の整備スケジュール

現在 26.12 27.4 27.8 27.12 28.4

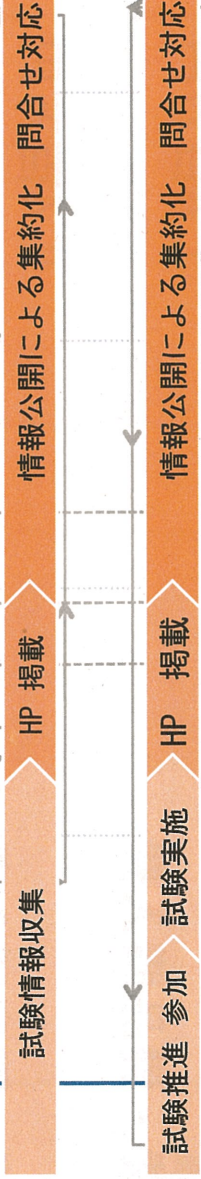
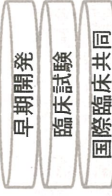
情報公開

医療機関情報
(診療実績・療養環境など
長期FJの取り組み
定期的な症例検討



診療集約化

再発・難治・希少がん診療
試験



問合せ対応

相談窓口
講演会
患者向け / 医療従事者向け



連携

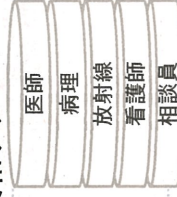
東京都小児がん連携ネットワーク



人材育成

人材交流

小児がん看護師
小児緩和ケア



研修・勉強会

25' 緩和ケア研修
26' 3 東京都
開催予定: 26' 10 小児がん学会研修委員会 連携

部会



拠点病院 実施事項

拠点病院 実施事項

地域病院 実施事項

小児がん地域ブロック整備の進捗状況について

関東甲信越ブロック

第6回小児がん拠点病院の指定に関する検討会

2014.7.14

地域ブロックの概要



行政機関 関東甲信越地域の都県

がんの子どもを守る会(オプザーバー)

小児がん拠点病院

1	埼玉県立小児医療センター	埼玉
2	東京都立小児総合医療センター	東京

3	国立成育医療研究センター	東京
4	神奈川県立こども医療センター	神奈川

小児がん診療を担う医療機関

5	茨城県立こども病院	茨城
6	筑波大学附属病院	茨城
7	獨協医科大学病院	栃木
8	自治医科大学附属病院	栃木
9	群馬県立小児医療センター	群馬
10	群馬大学医学部附属病院	群馬
11	埼玉医科大学国際医療センター	埼玉
12	千葉大学医学部附属病院	千葉
13	成田赤十字病院	千葉
14	日本医科大学千葉北総病院	千葉
15	千葉県立こども病院	千葉
16	日本大学医学部附属板橋病院	東京
17	帝京大学医学部附属病院	東京
18	東京医科歯科大学医学部附属病院	東京
19	東京大学医学部附属病院	東京
20	東京慈恵会医科大学附属病院	東京

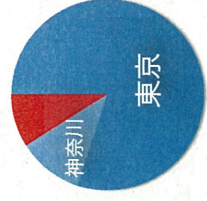
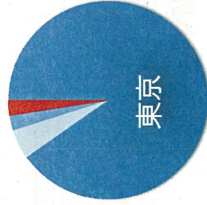
21	日本医科大学付属病院	東京
22	慶應義塾大学病院	東京
23	東邦大学医療センター大森病院	東京
24	順天堂大学医学部附属順天堂医院	東京
25	聖路加国際病院	東京
26	国立がん研究センター中央病院	東京
27	横浜市立大学附属病院	神奈川
28	東海大学医学部附属病院	神奈川
29	昭和大学藤が丘病院	神奈川
30	聖マリアンナ医科大学病院	神奈川
31	山梨大学医学部附属病院	山梨
32	信州大学医学部附属病院	長野
33	長野県立こども病院	長野
34	新潟大学医学部総合病院	新潟
35	新潟県立がんセンター新潟病院	新潟

日本小児血液・がん学会研修施設を基準として設定

地域ブロックの紹介、逆紹介患者数の推移

東京都立小児医療総合センター

平成24年 紹介 41 → 平成25年 75



平成24年 逆紹介 16 → 平成25年 30

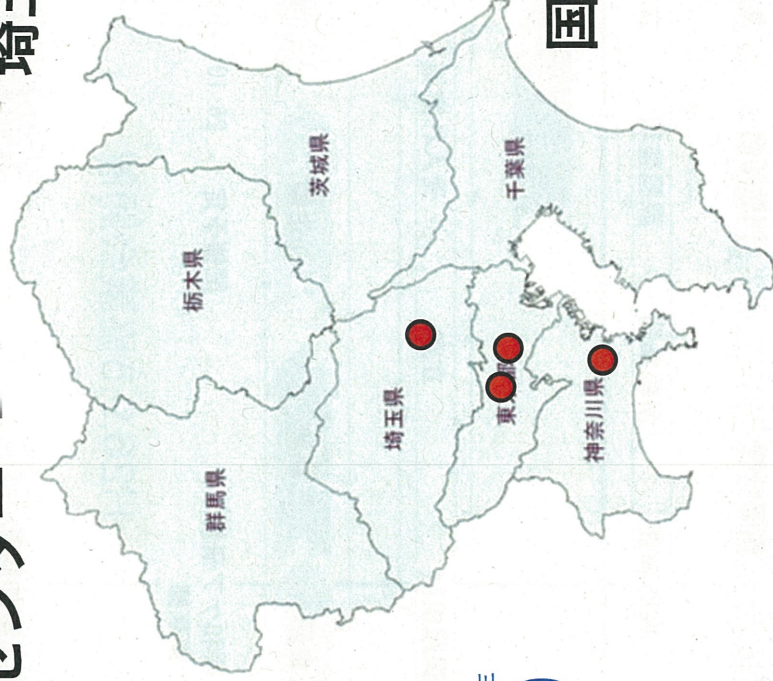
放射線治療 8

16

埼玉県立小児医療センター

平成24年 紹介 73 → 平成25年 75

平成24年 逆紹介 8 → 平成25年 8

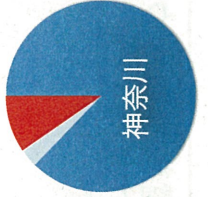
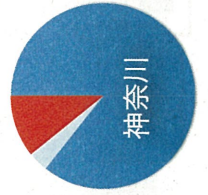


国立成育医療研究センター

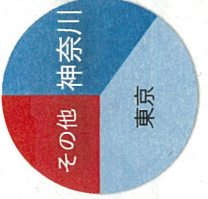
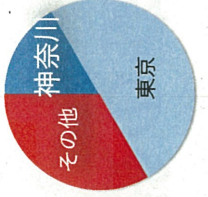
平成24年 紹介 83 → 平成25年 69

神奈川こども医療センター

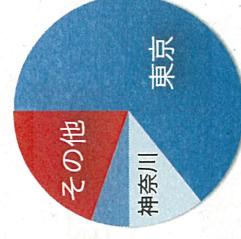
平成24年 紹介 63 → 平成25年 56

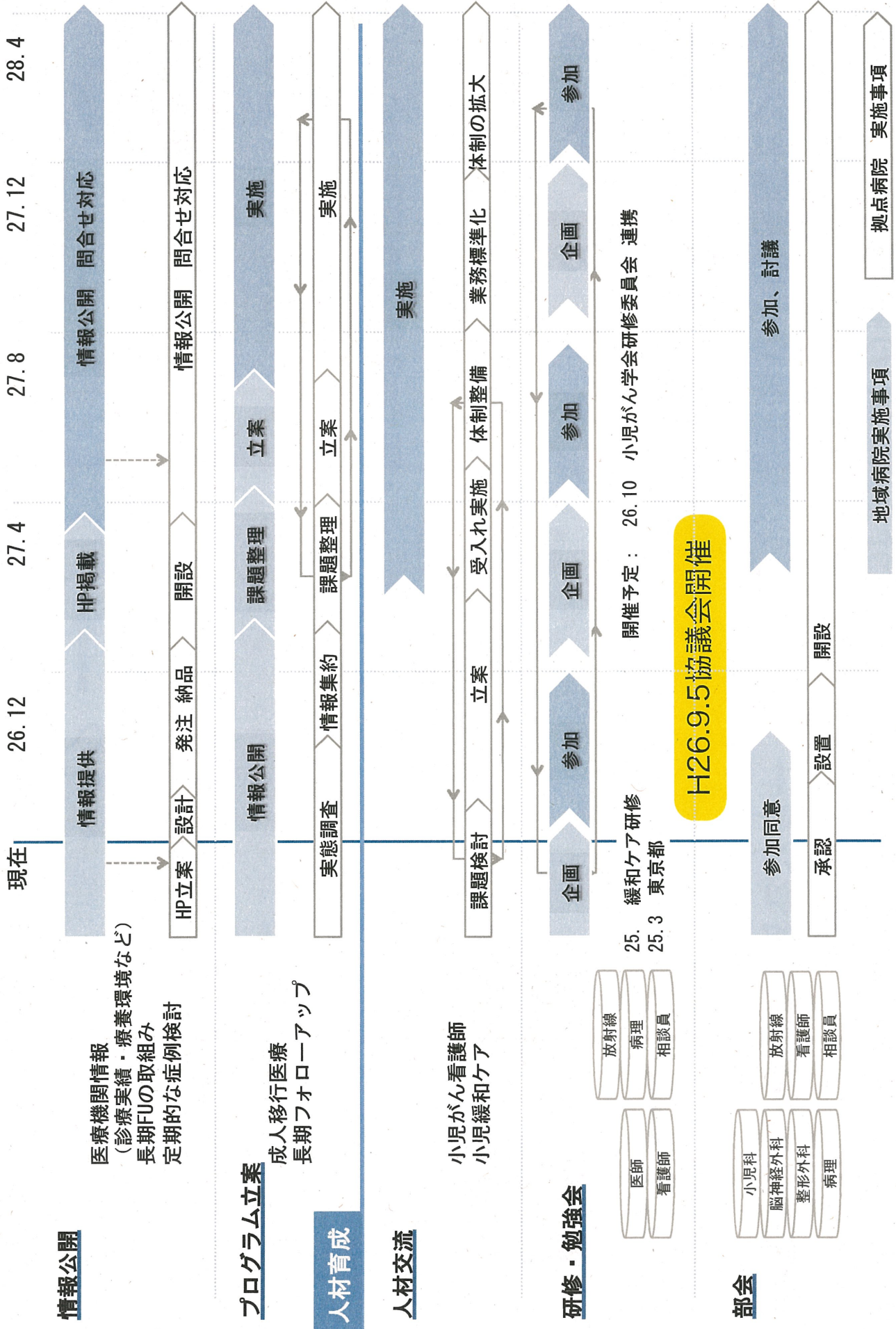


平成24年 逆紹介 12 → 平成25年 20



平成24年 逆紹介 7 → 平成25年 20





小児がん拠点病院整備の進捗状況 について

近畿ブロック

大阪府立母子保健総合医療センター

診療実績

年間入院患者数の状況	診療実績										地域連携	緩和ケア	相談支援センター
小児がん入院患者数	造血器腫瘍										小児がん患者の紹介を受けた医療機関数	緩和ケアチームが新規診療を実施した小児がん患者数	相談支援センター相談件数
	造血管腫瘍										小児がん患者の他施設への紹介患者		
	M D S / M P D のうち C M L を除く										他施設から紹介された小児がん患者数		
	M D S / M P D のうち C M L												
	まれな白血病												
	A M L												
	A L L												
	非ホジキンリンパ腫												
	ホジキンリンパ腫												
	その他のリンパ増殖性疾患												
	組織球症 H L H												
	組織球症 L C H												
	その他の組織球症												
	その他の造血器腫瘍												
	ダウン症 T A M 登録												
	神経芽腫瘍群												
	網膜芽腫												
	腎腫瘍												
	肝腫瘍												
	骨腫瘍												
	軟部腫瘍												
胚細胞腫瘍													
脳・脊髄腫瘍													
その他													
その他													

・ () 内は平成24年10月9日提出の新規指定申請書の数値、中段は平成25年12月末提出の現況報告の数値、下段はH25年1月～12月の数値

指定前後の変化

- ・ 進捗があった点

1. 小児がん拠点病院推進委員会の立ち上げ
2. 小児がんセンター（施設内）の開設
3. 大阪府小児がん連携施設連絡会の構築（年2回）
4. 研修会、講演会の開催（計10回）
5. 新ファミリーハウスの使用開始

指定前後の変化

- ・ 進捗が無かった点

1. 子どもの緩和ケアマニュアル作成途上

- 院内パブリックコメント収集が終わっており、ほぼ完成している。

2. ピアサポート体制の構築途上

- 小児がん経験者グループとの意見交換・連携を開始している。

3. 地域連携クリニカルパス計画中

- 成人のクリニカルパス（大阪府がん診療連携協議会）を参考にして作成する予定である。

事業実績報告

●実績報告に記載の項目

病院名：大阪府立母子保健総合医療センター

平成25年度小児がん拠点病院機能強化事業費

・小児がん医療従事者研修事業 ・	0. 6 百万円
・院内がん登録促進事業 ・	0. 6 百万円
・がん相談支援事業 ・	8. 1 百万円
・プレイルーム運営事業 ・	4. 2 百万円
・入院患者家族支援事業 ・	0 百万円

今後の整備スケジュール

集学的治療及び標準的治療の提供

地域連携クリニカルパス導入

子どもの緩和ケアマニュアル完成・運用開始

ピアサポート体制の構築

2014

2015

2016

2017

小児がん地域ブロック整備の進捗状況 について

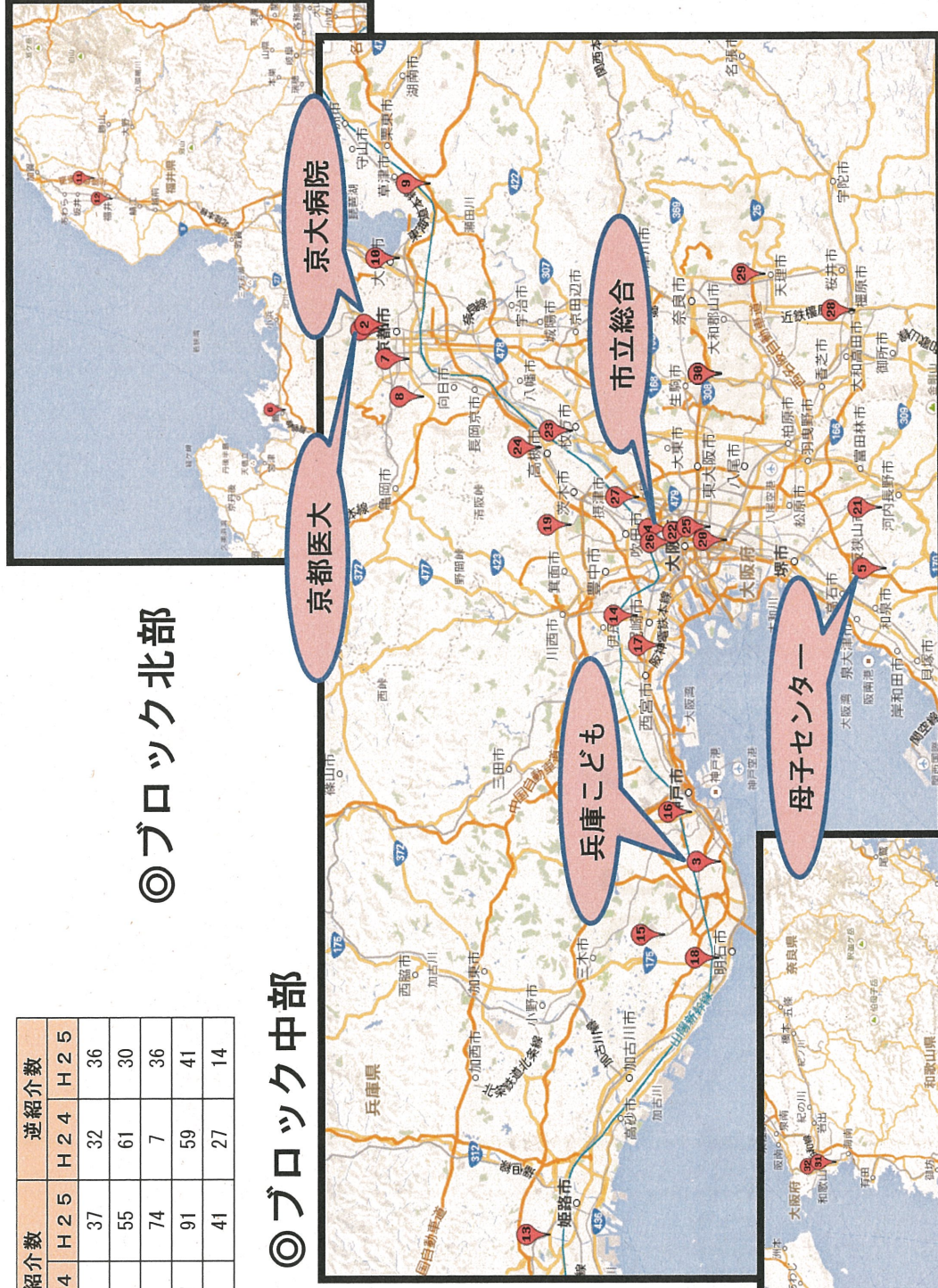
近畿ブロック

近畿ブロックの概要

No.	カテゴリ	施設名	紹介数					逆紹介数				
			H 2 4	H 2 5	H 2 5	H 2 4	H 2 5	H 2 4	H 2 5	H 2 5	H 2 4	H 2 5
1	拠点病院	京都府立医科大学附属病院		26	37		32		36			
2	拠点病院	京都大学医学部附属病院		99	55		61		30			
3	拠点病院	兵庫県立こども病院		85	74		7		36			
4	拠点病院	大阪市立総合医療センター		147	91		59		41			
5	拠点病院	大阪府立母子保健総合医療センター		59	41		27		14			
6	診療病院	国立病院機構舞鶴医療センター										
7	診療病院	京都市立病院										
8	診療病院	京都桂病院										
9	診療病院	滋賀医科大学附属病院										
10	診療病院	大津赤十字病院										
11	診療病院	福井大学医学部附属病院										
12	診療病院	福井赤十字病院										
13	診療病院	姫路赤十字病院										
14	診療病院	兵庫県立塚口病院										
15	診療病院	西神戸医療センター										
16	診療病院	神戸大学医学部附属病院										
17	診療病院	兵庫医科大学病院										
18	診療病院	明石市立市民病院										
19	診療病院	大阪大学医学部附属病院										
20	診療病院	大阪市立大学医学部附属病院										
21	診療病院	近畿大学医学部附属病院										
22	診療病院	国立病院機構大阪医療センター										
23	診療病院	関西医科大学附属救方病院										
24	診療病院	大阪医科大学附属病院										
25	診療病院	大阪赤十字病院										
26	診療病院	北野病院										
27	診療病院	松下記念病院										
28	診療病院	奈良県立医科大学附属病院										
29	診療病院	天理よろづ相談所病院										
30	診療病院	近畿大学医学部奈良病院										
31	診療病院	和歌山県立医科大学附属病院										
32	診療病院	日本赤十字社和歌山医療センター										

©ブロック北部

©ブロック中部



©ブロック南部



今後の整備スケジュール

近畿ブロック小児がん拠点病院協議会（年2回）

近畿ブロック小児がん診療病院連絡会（年1回）

人材交流（とくに若手の相互研修）システムの構築

2014

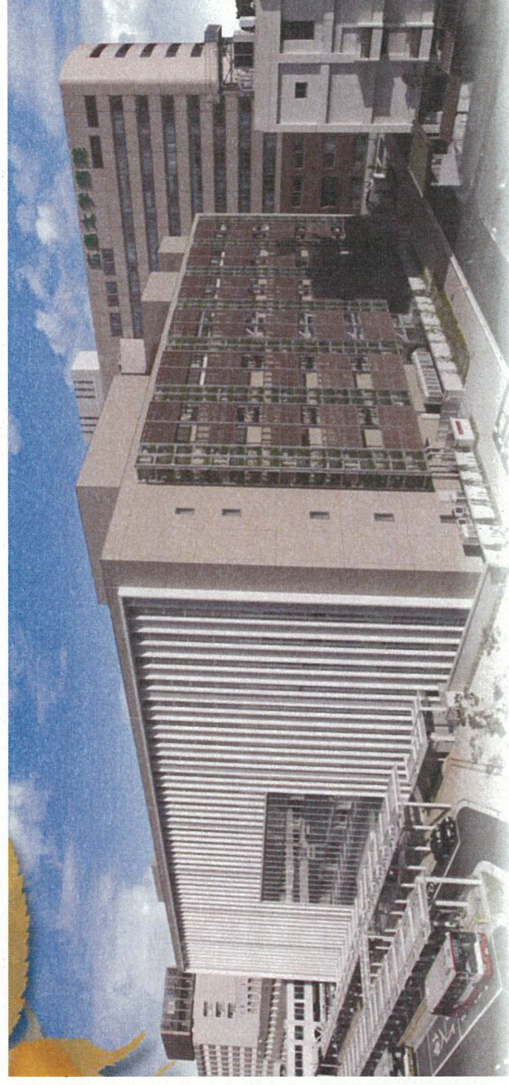
2015

2016

2017

小児がん拠点病院整備の進捗状況について

中国・四国ブロック：広島大学病院



広島大学病院
新診療棟
2013年9月20日
オープン

- 小児科教授：小林 正夫
- 小児科講師：川口 浩史
- 患者支援センター：藤本 利夫

診療実績

資料1

年間入院患者数の状況	診療実績			地域連携	緩和ケア	相談支援センター
小児がん入院患者数	造血器腫瘍			小児がん患者の紹介を受けた医療機関数	小児がん患者の他施設への紹介患者数	緩和ケアチームが新規診療を実施した小児がん患者数
	A L L			他施設から紹介された小児がん患者数		
	A M L					
	まれな白血病					
	M D S / M P D のうち C M L					
	M D S / M P D のうち C M L を除く					
	非ホジキンリンパ腫					
	ホジキンリンパ腫					
	その他のリンパ増殖性疾患					
	組織球症 H L H					
	組織球症 L C H					
	その他の組織球症					
	その他の造血器腫瘍					
	ダウソ症 T A M 登録					
	神経芽腫瘍群					
	網膜芽腫					
	腎腫瘍					
	肝腫瘍					
	骨腫瘍					
	軟部腫瘍					
	胚細胞腫瘍					
	脳・脊髄腫瘍					
	その他			その他		
	その他			その他		
(186)						
250						
302						

・ () 内は平成24年10月9日提出の新規指定申請書の数値(平成23年1-12月)
・ 中段は平成25年12月末提出の現況報告の数値(平成24年1-12月)
・ 下段は平成25年1-12月の数値

小児がん拠点病院指定前後の変化

集学的治療及び標準的治療の提供

1. チームによる集学的治療及び標準的治療の実施体制 → **進捗あり**
小児内科(血液・腫瘍)スタッフ増員, 小児外科, 脳神経外科, 整形外科, 頭頸部外科, 眼科, 血液内科, 放射線治療科, がん化学療法科など)との連携は確立 種々の化学療法プロトコルの承認
定期的カンサナーボードの開催
2. 専門的知識及び技能を有する医療従事者及び療養を支援する者の確保及び配置 → **進捗あり**
小児専門看護師の患者支援センターへの配置, 院内保育士配置(2014年6月から配置, チャイルド・ライフ・スペシャリストの増員(今年度から予定) 身体面, 心理面, 生活面のトータルケア
3. 再発がん及び難治がんへの対応 → **進捗あり**
造血細胞移植の充実と拡大, ミスマッチ移植の増加, 神経芽腫に対する新規治療(厚労科研)
4. 患者が増えた場合の病床確保等の対応 → **現状維持**
広島赤十字原爆病院との病床管理 テレビ会議を利用した症例相談
5. 思春期のがん患者への診療体制 → **現状維持**
造血器疾患: 血液内科との連携 整形外科, 頭頸部外科, 脳神経外科, 放射線治療科, がん化学療法科との連携促進
6. 緩和ケアチームによる緩和ケアの実施体制 → **進捗あり**
緩和ケアチームの増員 チャイルド・ライフ・スペシャリストの増員(今年度から)で初期からの対応

地域連携

7. 医療機関との役割分担 → **進捗あり**
造血器腫瘍: 広島大学病院と広島赤十字病院で診療
固形腫瘍: すべて広島大学病院で診療 小児血液がん専門医ならびに暫定指導医の取得医師の増加
8. 患者を受け入れる主な地域 → **現状維持**
中国・四国ブロック内で難治/再発症例, 高度な造血幹細胞移植が必要な場合, 兵庫県立こども病院との連携

小児がん拠点病院指定前後の変化

9. 自施設では十分対応できない疾患及び病態への対応 → **現状維持**
広島高精度放射線治療センター(2015年度竣工予定)を利用した放射線治療の拡充
 10. 長期フォローアップの方法及び晩期合併症への対応 → **現状維持**
現行の長期フォローアップ外来体制の継続とデータ収集, 二次がんに関する調査
 11. 連携の具体的な方法 → **進捗あり**
中国・四国ネットワークの充実, 拠点病院連携としての兵庫県立こども病院の参加
- その他
12. 小児がんに関する研修の実施 → **進捗あり**
中国・四国小児がん研究会の発足(第1回:2014年1月11日, 第2回:2015年1月10日予定)
中国・四国地域小児がん医療意見交換会(2013年11月17日, 2014年10月予定)
小児がん看護研修会(2014年12月予定)
 13. 相談支援の体制 → **進捗あり**
患者支援センターに小児看護専門看護師の配置:小児がん医療相談の拡充, 患者会との連携
 14. 臨床研究及びトランスレーショナルリサーチの実施体制及び研究の予定 → **進捗あり**
神経芽腫に対する新規治療(厚労科研), 肝芽腫に対する国際共同研究(厚労科研)
 15. 患者への教育及び復学支援の実施体制(人材, 設備等) → **進捗あり**
小児看護専門看護師, チャイルド・ライフ・スペシャリスト, 臨床心理士の協力でディスチャージプランナー役として復学支援 チャイルド・ライフ・スペシャリストの増員(今年度から)
 16. 家族等が利用しやすい長期滞在施設の整備及び運営 → **進捗あり**
広島大学霞フアミリーハウスの建設(平成27年3月竣工予定)
敷地面積:約213㎡ 施設:5階建て 宿泊施設:12室 大学病院まで徒歩2分
運営:がんの子どもを守る会広島支部 宿泊費:1,000~1,500円の予定

事業実績報告

平成25年度小児がん拠点病院機能強化事業費 15百万円

・小児がん医療従事者研修事業 3百万円

事業内容

新規入院患者や再発・難治がん患者についての検討会(7回, 延べ281人)

小児がん中国・四国ネットワーク会議: 小児がん医療意見交換会(1回, 49人)

(参考 支出内訳): 研修用PC(Web会議システム)保守 2,335千円 画像診断用ディスプレイ 633千円 会議費 7千円

・院内がん登録促進事業 6百万円

事業内容

院内小児がん登録に従事する職員の雇用

院内小児がん登録の整備・充実

(参考 支出内容): 院内がん登録職員(1人)に係る給与 5,667千円

・がん相談支援事業 3千円

事業内容

患者支援センターに「小児看護専門看護師」を1名配置

中国・四国地域の小児がん患者・医療従事者からの小児がん医療相談の実施

小児がん相談支援に有用な情報の収集, 患者も閲覧可能な書籍の購入

小児がん患者家族支援団体, 小児がん患者会との連携

小児がん相談支援の広報

(参考 支出内訳): 参考図書 3千円

・プレイルーム運営事業 6百万円

事業内容

プレイルーム内保育に従事する専従職員(院内保育士)の雇用

プレイルーム(病棟・外来)内の知育玩具(医療用含む)の充実

学習用図書及び絵本等の整備・充実

(参考 支出内訳): プレイルーム内保育士(1人)に係る給与 5,715千円 参考図書, 医療玩具等 318千円

小児医療診察支援ツール(スマイルタッチ)借上 93千円 棚修繕 6千円

今後の整備スケジュール

集学的治療及び標準的治療の提供

5. 思春期のがん患者への診療体制
造血器腫瘍：血液内科との連携促進
その他の腫瘍：関連診療科との連携促進
(整形外科，頭頸部外科，脳神経外科，放射線治療科，がん化学療法科等)

地域連携

8. 患者を受け入れる主な地域：兵庫県立こども病院との連携
9. 自施設では十分対応できない疾患及び病態への対応：2015年度広島高精度放射線治療センターが竣工予定
放射線治療の拡充

10. 長期フォローアップの方法及び晩期合併症への対応：ブロック内での長期フォローアップ体制の統一

その他

12. 小児がんに関する研修の実施
中国・四国小児がん研究会の発足(第2回: 2015年1月10日)
中国・四国地域小児がん医療意見交換会(第2回: 2014年10月11-12日)
小児がん看護研修会(2014年12月予定)
専門医制度資格取得セミナーの開催(学会主導による単位取得) 第1回: 2014年9月21日(於 岡山)
14. 臨床研究及びトランスレシヨナルリサーチの実施体制及び研究の予定
神経芽腫に対する新規治療(厚労科研)，肝芽腫に対する国際共同研究(厚労科研)
15. 患者への教育及び復学支援の実施体制(人材，設備等)
チャイルド・ライフ・スペシャリストの増員(今年度 10月から)
16. 家族等が利用しやすい長期滞在施設の整備及び運営
広島大学霞ファミリーハウスの建設(平成27年3月竣工予定)

小児がん拠点病院整備の進捗状況について

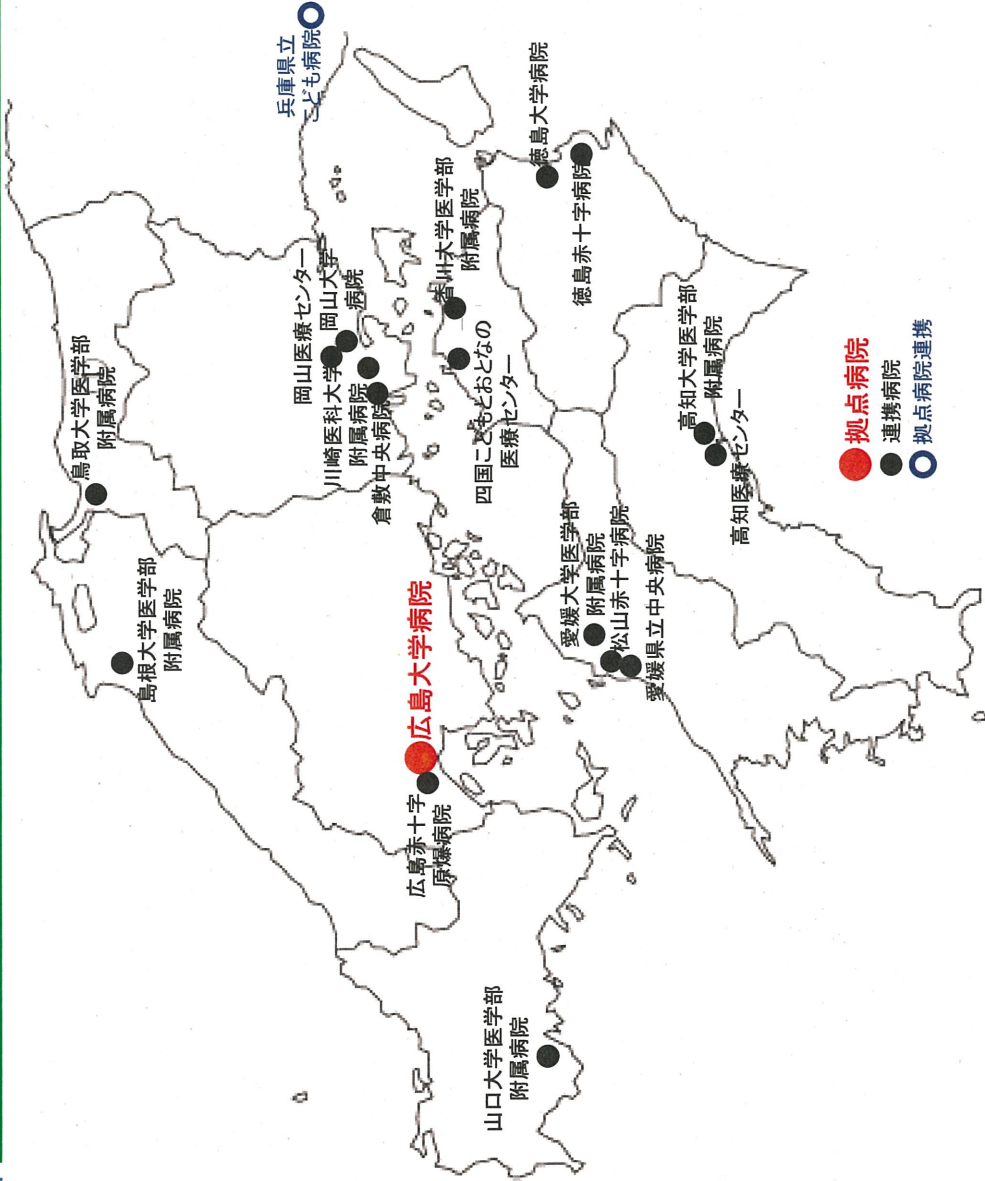
中国・四国ブロック

広島大学病院

- 小児科教授: 小林 正夫
- 小児科講師: 川口 浩史
- 患者支援センター: 藤本 利夫

小児がん中国・四国ネットワーク

(2013年7月設立)



拠点病院: 広島大学病院

連携病院(小児がん診療病院):

鳥取県: 鳥取大学医学部附属病院

島根県: 島根大学医学部附属病院

岡山県: 岡山大学病院

川崎医科大学附属病院

岡山医療センター

倉敷中央病院

広島県: 広島赤十字・原爆病院

山口県: 山口大学医学部附属病院

徳島県: 徳島大学病院

徳島赤十字病院

香川県: 香川大学医学部附属病院

四国こどもとおとなの医療センター

愛媛県: 愛媛大学医学部附属病院

愛媛県立中央病院

松山赤十字病院

高知県: 高知大学医学部附属病院

高知医療センター

拠点病院連携: 兵庫県立こども病院

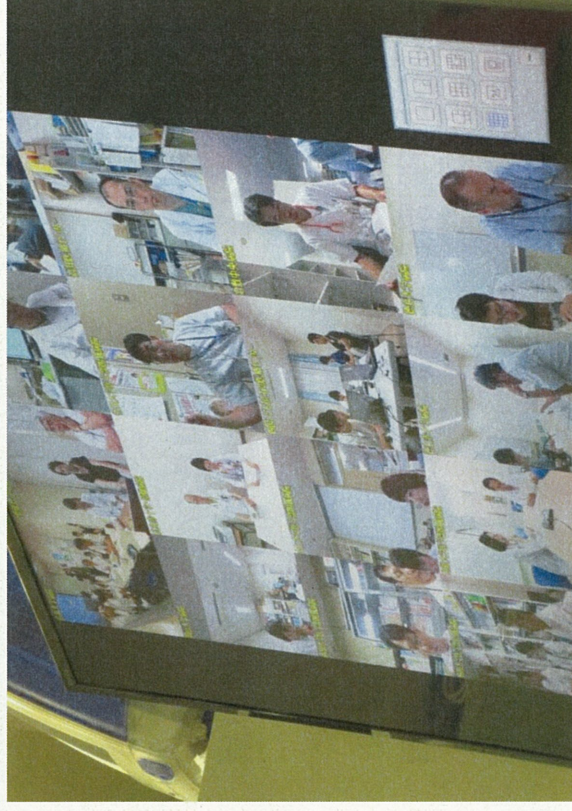
平成24年・紹介患者数 45名: 広島 34, 山口 9, 島根・兵庫各 1

・逆紹介患者数 2名: 東京 2(網膜芽腫 1, 転居 1)

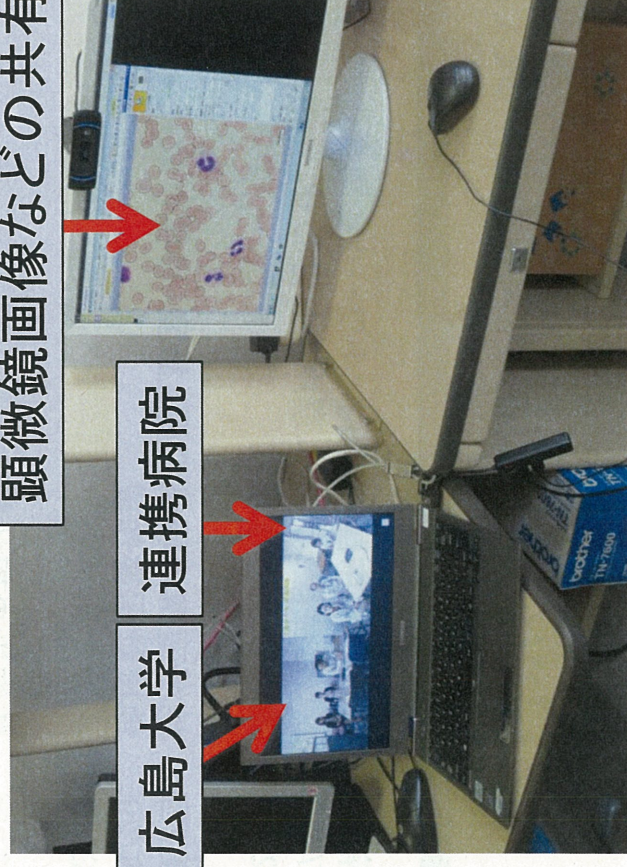
平成25年・紹介患者数 58名: 広島 46, 山口 6, 大阪 2, 北海道・愛知・岐阜・高知各 1

・逆紹介患者数 4名: 東京 3(網膜芽腫 2, 転居 1), 島根 1(終末期)

小児がん中国・四国ネットワークテレビ会議



顕微鏡画像などの共有



広島大学

連携病院

webカメラ

顕微鏡



ブロック内会議検討事項(第1回～第11回)

第1回 7/22 2013	小児がん中国・四国ネットワーク会議会則制定 テレビ会議システム運用申し合わせ 地域計画書作成案	第7回 2/26 2014	小児がん中央機関の指定 小児がん登録 患者会との連携体制
第2回 8/20 2013	地域連携の現状把握, 計画・目標作成 地域計画書作成	第8回 3/26 2014	兵庫県立こども病院の参加 患者会の活動状況 各県における公的助成制度
第3回 9/24 2013	各施設の現状報告 メーリングリスト作成 神経芽腫治療情報交換	第9回 4/23 2014	MRI検査の実施体制 (実施時のマニュアル) 症例検討
第4回 10/23 2013	鎮痛鎮静薬使用アンケート調査 各県行政担当者の参画承認 希少症例検討	第10回 5/25 2014	小児がん拠点病院連絡協議会の報告 専門医制度資格取得セミナー ブロック看護研修会案内
第5回 11/27 2013	難治性固形腫瘍(初発例)治療アンケート調査 ホームページ案 希少症例検討 小児がん患者団体との連携	第11回 6/25 2014	脳腫瘍, 骨腫瘍等の治療アンケート調査 ブロック看護研修会案内

第6回 連絡協議会(於 広島大学病院)

1/11
中四国ブロックの連携体制
神経芽腫の治療
小児がん研究会

ブロック内整備と今後の予定

1. 地域連携

小児がん中国・四国ネットワークの設立と活動(月1回のテレビ会議, 年1回の連絡協議会)
ホームページの開設と各県の連携病院情報の提供: 8月中にオープン

小児がん患者団体との連携

がんの子どもを守る会中四国支部連絡会の発足(年1回の定例会)

第1回: 2013年11月16~17日(広島)

第2回: 2014年10月11~12日(愛媛) 予定

小児がん看護研修会: 2014年12月開催予定(30名の参加希望)

行政機関との連携: 中四国がん対策所管課会議でネットワークへの参加承認(2013年10月22日)

小児がん診療に関する広報, 啓発, 患者支援への取り組み

2. 人材育成

専門医制度資格取得セミナーの開催(学会主導による単位取得)

第1回: 2014年9月21日(於 岡山)

小児がん研究会(年1回, 連絡協議会と同時開催, 2015年1月10日予定)

小児血液フォーラム, 小児白血病カンファレンス, 小児がんセミナー など

3. その他

広島大学霞ファミリーハウスの建設(平成27年3月竣工予定)

敷地面積: 約213m²

施設: 5階建て 宿泊施設: 12室

大学病院まで徒歩2分

